

平成 30 年 3 月 13 日

報道機関 各位

国立大学法人東北大学 産学連携機構

東北大学発ベンチャー起業支援プログラムの採択決定 「育成」において材料関連事業など新たに 7 件を採択

国立大学法人東北大学(所在地:宮城県仙台市、総長:里見進)では、平成 24 年度補正予算で手当てされた官民イノベーションプログラムによる大学への出資事業を原資として、研究成果を活用したベンチャー企業創出への支援に力を入れております。

具体的には事業化意志を持つ研究者を対象に社会ニーズに対応した製品のプロトタイプづくりやニーズ調査などによる事業性検証を通じて、社会的インパクトのある研究成果の事業化・実用化を支援するビジネス・インキュベーション・プログラム(BIP)を推進しています。この度材料関連の事業化案件など新たに「育成」7 件を採択しました(別紙)。

本プログラムには、企業との共同研究を前提とする「重点」と、新技術についての事業化検証から、実用段階にある技術についての起業準備までの幅広い段階に応じた支援が可能な「育成」があります。「育成」は研究者の事業化意欲の積極的な発掘と支援拡大を視野に設定されたものです。

本プログラムでは平成 25 年 7 月開始以降、研究者からの申請に基づく事業化案件について現在までに「重点」、「育成」合わせてこれまでに 21 件を採択し、終了した 10 件のうち 4 件が東北大学ベンチャーパートナーズ社(THVP)が運営するファンド等からの出資を受けてベンチャー会社設立に至っております。

この度は、平成 29 年度第 2 回学内公募を昨年 12 月 15 日に始め、書類選考、審査を経て、「育成」7 件が採択されました。以後、環境に優しい社会への発展に貢献できる技術などプロトタイプの製作やビジネスケースの創造を目指してそれぞれ 1 年間の活動を進めてまいります。

(別紙) 平成 29 年度第 2 回東北大学ビジネス・インキュベーション・プログラム
(BIP) の採択内容 (事業期間 : 平成 30 年 4 月 1 日~平成 31 年 3 月 31 日)

タイプ・所属部局・実施代表者	BIP 実施内容
育成 工学研究科 金森 義明 准教授	メタマテリアル技術をベースとした光・熱複合制御材の開発と事業性検証
育成 情報科学研究科 山口 明彦 助教	視覚と触覚を合わせ持つロボット用革新的センサのプロトタイプ開発と事業性検証
育成 東北アジア研究センター 佐藤 源之 教授	人道的地雷除去用センサの社会実装に向けたシステム開発と事業性検証
育成 マイクロシステム融合研究開発センター 室山 真徳 准教授	ロボット用触覚センサモジュール・システムの技術開発と事業性検証
育成 情報科学研究科 多田隈 建二郎 准教授	多種多様な対象物の把持を可能とするロボットハンドの新機構の開発と事業性検証
育成 工学研究科インフラマネジメント研究センター 早坂 洋平 産学官連携研究員	インフラ維持管理の本格化に向けた AI を活用した画像処理技術によるひび割れ検出システムの開発と事業性検証
育成 薬学研究科 森口 茂樹 講師	アルツハイマー病中核・周辺症状の改善効果を有する治療薬の開発と事業化企画

【問合せ先】

国立大学法人東北大学 産学連携機構

事業イノベーションセンター

三瓶 綾子 (サンペイ アヤコ)、元山 義章 (モトヤマ ヨシアキ)、
加藤 毅 (カトウ タケシ)、米田 達也 (ヨネダ タツヤ)

Tel : 022-217-6597

E-mail : info.innovation*ml.tohoku.ac.jp

(*を@に置き換えてください)